



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyouasan@city.yachiyo.chiba.jp)



第356号
2018年3月12日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

住民の立場で予算案を厳しくチェック

3月6日から9日まで予算特別委員会が開かれ、服部市長によって初めて編成された予算案の審議が行われました。

予算関係の議案としては、福祉や教育にかかわる一般会計、国保・介護・後期高齢者などの特別会計、水道・下水道などの企業会計で、7議案となっています。

日本共産党は、この予算案が住民の暮らしを守るものとなっているか、無駄な事業が盛り込まれていないか、市民サービスの低下になっているものはないかなどの角度から予算審査に臨みました。

今回の予算案には、市民の根強い要求であった教室にエアコンの設置に向け、調査費が計上され、平成32年の夏までには工事が完了する予定です。ただし、手法については、市の直接施工、リース方式、PFI方式などが検討されるが、地元業者に発注できる仕組みを考えるべきです。

運転免許証を自主返納した高齢者（65歳以上）の方に、500円のタクシー券20枚を交付する事業が提案されています。尚、適用される方は、平成29年4月1日以降の方となっています。

保育園待機児童の解決に市は責任を

服部市長は、東葉高速鉄道運賃の引き下げを公約の1丁目1番地として市民に約束したのです。しかし、この公約実現の見通しは全くありません。今やるべきことは、東葉高速鉄道の2600億円超の長期債務を返済し、自立した企業になることだとして、「東京メトロ」との統合による運賃引き下げの公約を投げ捨てています。

保育園・学童保育の待機児童の解消は、市政の最重要課題です。保育園の待機児童は、580人なのに、平成30年度で240人、31年度で180人分、合計420人分しか準備されていません。市は平成31年度末までに待機児童ゼロにすると断言していますが、160人分不足し、今後とも入園希望者は増え続けるのです。

企業内保育園など民間まかせでは解決できません。市が本腰を入れて公立保育園を建設すべきです。

介護保険料・国保料の引き下げを

介護保険は、基金（貯金）が9億48百万円もあるのに、第7期介護保険事業計画（H30～32年）の取り崩しは、3億2千万円で、しかもH30年度は取り崩しより積み立てる金額が増えるという、それなら介護保険料の引き上げ1980円（基準額）をもっと引き下げるべきです。

国民健康保険料は、平成30年度から県が事業主体となり、各自治体に標準額が示され、八千代市の引き上げ額は313円となりましたが、基金2億3千万円を取り崩して値上げを押さえました。しかし、高すぎて払えない滞納世帯が15%を超えています。一般会計からの繰り入れで、国保料の引き下げを行うべきです。

